

<第51回>

観世流 春季謡曲大会

令和8年/2026年4月12日(日曜日) 午前10時00分開演

中央文化センター・ひばりホール 入場無料



※イラスト: 岡屋忠利

府中市謡曲連盟 観世会

(10:00 開会)

○印は、地頭

府中市謡曲連盟 会長挨拶

芝原 央充

素謡 吉野天人

青謡会

シテ(里女/天人)
ワキ(都人)

平松 保子
糸川 秀穂

地謡 伊藤 七子
佐藤 正行
大江 麻友

納原 幸子
眞鍋 智代
○芝原 央充
山田 久代

素謡 屋島

楽謡会

ツレ(漁夫)
シテ(漁翁/源義経)
ワキ(旅僧)

太田 千鶴
成家 鉄夫
村野 昭典

地謡 野口 徹也
○芝原 央充

素謡 忠度

凜謡会

シテ(薩摩守忠度)
ワキ(旅僧)

福井美津子
荒地 光泰

地謡 渡邊由美子
○押田 連
桑田 陽乎

仕舞

養老
羽衣

クセ

野口 徹也
大江 麻友

府中観世会

地謡 渡辺 昌子
○押田 連
荒地 光泰

素謡 胡蝶

紀水会

シテ(里女/胡蝶の精)
ワキ(旅僧)

石渡芙佐子
伊藤 紀子

中野 明子
平林世津子
○芝原 央充
栗山 幸子

<昼・休憩>

※役謡および地割は、左方の見所に向けての配列となっています。

(13:00 午後の部開演)

仕舞

鶴亀

篠原 瑚音

西王母

中村 澪里

田村

クセ

神谷 紗帆

屋島

風間 優里

東北

クセ

風間 久江

合浦

キリ

大北 将生

こども仕舞教室

地謡 渡辺 昌子
○押田 連
荒地 光泰

素謡

杜若

シテ(杜若の精)
ワキ(旅僧)

中野 明子
平林世津子

鳳謡会

地謡 伊藤 紀子
栗山 幸子
○芝原 央充
石渡芙佐子

仕舞

高砂

押田 連

笹之段

渡辺 昌子

春日龍神

荒地 光泰

府中観世会

地謡 渡辺 昌子
○押田 連
荒地 光泰

素謡

橋辯慶

子方(牛若丸)
トモ(弁慶の従者)
シテ(武蔵坊弁慶)

大江 麻友
伊藤 七子
山田 久代

竹謡会

地謡 佐藤 正行
眞鍋 智代
○芝原 央充
納原 幸子

素謡

小鍛冶

シテ(童子／稻荷明神)
ワキ(三條宗近)
ワキツレ(勅使)

山口 正登
桑田 陽乎
田嶋 雅子

松風会

地謡 渡辺 昌子
○岡本 浩次

附祝言

(15:30 頃 閉会予定)

素謡曲目の概略

「吉野天人(よしのてんにん)」都の者が仲間と共に桜を見に吉野山へ分け入ると高貴な姿をした女が現れ、尋ねると自分は天人だが、今宵旅居すれば五節の舞を見せようと言って姿を消します。その夜虚空に音楽が聞こえ、天つ乙女が花の梢に舞い遊び、やがて花の雲に乗って消えていきます。

「屋島(やしま)」都の僧が屋島に至り塩屋に一夜の宿を求めると主の漁翁が承知し、所望に応じ源平合戦の様を語ります。詳しいので名を問うと寝て待てと言います。やがて夢の中に義経が現れ、合戦の際波に落とした弓を敵に渡したくないので取り戻したことなど、戦の様子を語ります。

「忠度(ただのり)」出家した藤原俊成の家人が須磨の浦に至り、古塚に詣でる老人に宿を乞うと平忠度の塚だと教え、花下陰で寝て待てと言います。夢に忠度の霊が現れ、千載集に選ばれた和歌が朝敵ゆえに詠み人知らずとされたのを悔しがるとともに、一の谷合戦での自分の最後の様子を語ります。

「胡蝶(こちょう)」吉野の僧が一条の古宮で梅の花を眺めていると女が現れ古宮の由緒を語るのて名を問うと、胡蝶であるが法華経の読誦で梅花と縁を結びたいと言います。僧が花下で寝ていると夢に胡蝶の美しい精が現れ、経のお蔭で結縁できたと喜び花に戯れ舞い、霞に消え去ります。

「杜若(かきつばた)」旅僧が三河に着くと杜若が一面に咲き誇り、里女が現れ「からころも」の歌を詠んだ伊勢物語の在原業平の昔を語ります。里女は杜若の精でその夜旅僧の夢に唐衣を着て現れ、業平と二条の后とのロマンを語り優雅に舞い、目覚めると姿は消え杜若が風にそよぐばかりです。

「橋辨慶(はしべんけい)」武蔵坊弁慶が宿願の満願の日に五条の天神に行こうとすると、従者が、橋上で早業の幼年者が襲うので危ないと止めますが、何をと出かけます(通説とは逆)。身軽に飛び跳ねる薄衣姿の牛若に弁慶が大薙刀を撃ち落とされ、ここで両人は名乗り合い主従の約束を取り交わします。

「小鍛冶(こかじ)」一条院は三条の小鍛冶宗近に刀を作らせよという夢を見、橘道成に使いをさせます。相槌がないので宗近が稲荷明神に祈ると、童子が現れ劔の威徳を語り尽力を約します。かくして双方が槌音高く御劔「小狐丸」を打ち上げ勅使に奉じると、相槌の童男は叢雲に飛び乗り稲荷の峯へと帰ります。

一緒に、謡いませんか！

各会で
募集中

「府中市謡曲連盟 観世会」には、謡曲の会が7つあります。それぞれ月2回の稽古を行なっているほか、「初謡会」「月例会」、秋には、宝生流、金剛流との「合同謡曲大会」も開催しています。

7つの会は、「入門教室」を修了したばかりの初心者の方から、数十年以上の経験者による会まで、さまざまですが、お気軽にご連絡ください。それぞれの会をご紹介します。

府中市謡曲連盟 観世会

〒183-0001 府中市浅間町3-18-1-708 芝原央充 方

TEL・FAX 042-388-3299 (留守電)

fuchukanze01@gmail.com